

当院で腎移植のドナーとして移植腎採取術を受けた方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当院における腎移植時のグラフト結石症例の検討

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 森田 研 (泌尿器科・講師)

[研究の目的] 腎移植ドナー候補に尿路結石を認めた場合、基礎疾患がなく結石が片側の場合はドナーとなる事ができますが、その結石をどのように扱うかについては明確な基準がないのが現状です。当科の基本方針としては、片側例を適応としており、結石の位置によっては結石がある状態のまま移植を行っています。また、結石が尿路にある場合は移植前に結石除去を試みる場合と、移植時に試みる場合の二通りがあります。今回、腎移植時にドナー腎に結石を有した方の検査結果などを解析し、ドナー腎の結石の扱いについて検討します

[研究の方法]

●対象となる方

平成13年4月から平成25年3月の間に当院で腎移植のドナーとして移植腎採取術を受けた方で、摘出腎に結石を有していた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、レントゲン画像、CT画像、術前術後の腎機能、尿所見、手術記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、対象となる方を直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も対象となる方を特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院泌尿器科 担当医師 森田 研
電話 011-716-1161 FAX 011-706-7853